

教科	工業	科目名	インテリア実習	単位数	3
学科	インテリア科	学年	2 学年	履修区分	必須
使用教科書	インテリアエレメント生産(文部科学省)				
副教材など					

1. 科目の目的

「インテリア計画」「インテリア装備」「インテリアエレメント生産」「デザイン技術」「デザイン史」等の科目に関連させ、要求条件にあった、性能の高い、快適なインテリアを創造するための基礎的・基本的な技術を、実際の作業を通して総合的に習得し、ものづくりの能力と技術および、態度を身に着けた実践的な技術者を育成することを目的とします。

2. 授業の内容と進め方

3班に別れグループで学習します。「木材工芸」「デザイン」「パース」の3テーマで基本的技術を学習し、それぞれ3班編制のローテーションで進めます。「木材工芸」では小物家具製作をおこない製作工程に応じた加工技術や木工機械の操作を学習します。「デザイン」ではAdobe社illustratorの基本的操作法を学習し、デザインの表現方法を学びます。「パース」では1消点パース及び、2消点パースの作図法を学習し、各自がインテリアデザインをしたパースを描いてPhotoshopで着色し仕上げます。

3. 学習する上での留意点

他の科目との関連を重視して授業を進めます。「木材工芸」における刃物や木工機械の使用については、特に安全教育・環境整備に最大の留意が必要となります。

4. 課題等について

各工程ごとにレポートを提出します。家具作品、パース作品等の製作において授業時間で不足する分は課題とし、各自の自主学習によって完成させ期日までに提出することとします。その際、実習室の使用を認め、刃物や機械の使用については職員が付いて指導します。欠席者については、放課後等を利用し欠席した実習項目について補講をします。

5. 成績評価規準(評価の観点及び趣旨)

評価の観点	評価規準
知識・技術	インテリアデザインに関する基礎的・基本的な技術を身につけ、人が快適に生活するインテリアの計画・設計理解し的確に表現できるか。また、合理的な工程を計画し、安全や環境に配慮し、適切に加工や処理をする方法、それらの意義や役割を理解し表現できるか。
思考・判断・表現	基礎的な知識をもとに、実際にインテリアデザインを提案し、家具等の作品を製作するにあたって直面する諸問題について、その解決を目指して自ら思考を深め、判断できる力と創意工夫する能力を身につけているか。
主体的に学習に取り組む態度	インテリアの表現技法および、作品製作等ものづくりに関心をもち、その習得に向けて意欲的に取り組むとともに、実際に活用しようとする創造的、実践的な態度を身につけているか。

6. 評価の方法

評価の観点に基づき、出席状況、提出作品の完成度および、自己評価を加味して総合的に判断し、評価します。

《指導計画》 科目名 インテリア実習

2 学年

3 単位

学期	月	学習内容 (単元・考査等)	学習のねらい	評価方法等
一 学 期	4	実習オリエンテーション	1. 各実習の目的, 方法などについて, あらかじめ十分理解する。 2. 実習に安全な服装, 整理整頓と危険防止に留意する。 3. 積極的, 自主的に行動し, 共同作業はお互いによく協力するよう心がける 4. レポートおよび, 作品の提出は, 期限を厳守する。	教師による観察 報告書
	5	第1実習テーマ 「木材工芸」	インテリアデザインの基礎知識を基に, 機能性, 安全性, 審美製を備えた家具をデザインし, 合理的な加工工程表の作成法を学び, 安全で適切な加工技術を身につけ, 図面どおりの家具を製作する技術を習得する。	教師による観察 レポート 自己評価 作品完成度
	6			
7	第2実習テーマ 「パース」	パースの原理, 1 消点パース及び, 2 消点パースの作図法を学習し, 課題のインテリアをデザインして, 手描きによりインテリアパースを描いて, インテリアカラースキーム (室内の配色計画) を行い, カラーリング (着彩) する技術を習得する。	教師による観察 レポート 自己評価 作品完成度	
二 学 期	9	第3実習テーマ 「デザインと3DCG」	デザインの基礎知識を基に, Adobe社のイラストレーターやフォトショップCS4を用いてパッケージのデザインなどを行う。また, フォトグラメトリーなどの3DCGの技術を習得する。	教師による観察 レポート 自己評価 作品完成度
	10			
	11			
12				
三 学 期	1			
	2			
	3			